



# おおたの教育

## 今号の主な内容

- 1面 おおたの地域の特色ある教育
- 2面-3面 「地域とともにある学校づくり」を進めています  
～大田区版コミュニティスクールの推進～
- 4面 第23回 エコフェスタワンダーランド

©大田区

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>



## おおたの地域の特色ある教育



大田区立の小・中学校では、地域の多様な特色を、教育資源として最大限に活かしています。  
地域の特色ある教育活動を通して、子どもたちの「未来を創る力」を育みます。



### カサゴ稚魚放流体験 海に面した大森第一中学校の取組



▲ 第1学年の生徒たちによるカサゴ稚魚の放流の様子

大森第一中学校では、総合的な学習の時間の年間テーマである環境学習の一環として、東京湾遊漁船業協同組合の皆様のご協力の下、カサゴ稚魚放流体験を実施しています。

事前にタブレット端末を活用し、カサゴの生態や、東京湾の水質保全のための取組、歴史的な背景を学習しました。

東京湾は、埋め立てや戦後の経済成長の中で、汚染されてしまった時代がありましたが、現在では、様々な人の努力で美しさを取り戻しています。

カサゴの稚魚は体長約8～10cmで、弱りやすいため、素早く放流することが大切です。生徒たちは興味津々に稚魚を観察し、稚魚へのタグ付けを実際に行い、バケツリレー方式で放流を行いました。

生徒たちは、海に面した学校周辺の環境学習を行う中で、地域の特色の重要性を理解するとともに、多くの方に支えられて学校の教育活動が行われていることを実感し、海の豊かさを守るために、生徒自身ができることについて考えを深めています。



### 教科「おおたの未来づくり」の新設によるSTEAM教育の推進

#### 地域の特性を活かした取組 北糀谷小学校の様子



▲ 地域の創生に関する課題解決に向けた授業の様子

STEAM教育<sup>(※)</sup> Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(人文社会・芸術・デザイン)、Mathematics(数学)等の教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育

教科「おおたの未来づくり」は、区独自で推進してきた「ものづくり教育」を、「STEAM教育<sup>(※)</sup>」の視点から見直し、令和7年度から小学校第5・6学年を対象として実施する独自教科です。「世界に誇る高い技術力」をはじめとして、「羽田空港を要する国際都市」「豊かな自然と歴史」「貴重な文化」「昔ながらのにぎわい」等の区内各地域の多様な特色を、教育資源として最大限に活かした学習を行います。

学習の中で、児童が、「ものづくり」と「地域の創生」に取り組み、アイデアの社会実装化等にチャレンジすることで、未来を創る力である「創造的な資質・能力」を育成します。

北糀谷小学校では、大田区産業振興課、地域基盤整備第二課、高齢福祉課、国際都市・多文化共生推進課と連携し、ちらし、CMなどの作成、みんなが楽しめる公園のアイデアの提案など、児童が自ら考え、話し合い、試行錯誤しながら、地域の創生に関する課題解決に取り組みました。

次世代の区内産業やイノベーション、ひいては区の様々な課題解決を牽引する人材を育みます。



### ものづくり教育・学習フォーラムを開催します

「ものづくり教育・学習フォーラム」は、大田区の小・中学校、特別支援学校、高等学校、各企業・団体が協力して開催しています。今年度から、ものづくり体験は、当日受付を行います。

多くの方々のお越しをお待ちしております。

(※一部の体験では材料費(上限500円)が必要です。)

日時 令和6年1月13日(土) 9:00～15:00 (※表彰式・閉会式は16:00まで)

会場 大田区産業プラザPIO(南蒲田1-20-20)

### こんなことやっています! 作品展示・大田区小学生科学展

#### 競技会(コンテスト)



#### 舞台発表



#### 体験コーナー





### 調布大塚小学校

これまで十分機能していた組織を、法律に基づく仕組みとして早期に位置付けたいと考え導入を決めました。田調調布グリーンコミュニティをハブとした地域学習の協働開発や、「スクールサポート調布大塚」による新教科「おおたの未来づくり」の単元開発や体験活動の充実など、これまでの取組を大切にしながら、本校仕様にカスタマイズしていきたく思います。これからも調布大塚小学校では、家庭で育ち、学校で学び、地域に生きる子どもを育てます。



夏休みお楽しみ教室「正しく学ぶ合気道」の様子

### 入新井第二小学校

本校は、大田区人権教育研究協力校として学校、家庭、地域の連携・協働により、子どもたちを見守り育てていく教育環境をつくり「地域とともにある学校」を進めています。1年生は保育園交流、2年生は地域の方との昔遊び、3年生は長生会(老人会)との交流、4年生は車いす体験・白杖体験(大田区福祉管理課)、5年生は福祉園との交流(障がい者理解)、6年生は認知症講座(地域包括支援センター)など地域資源を生かして豊かな教育を進め、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育てています。



車いす体験・白杖体験の様子

### 馬込第三小学校

昨年度は、学校運営協議会として、子どもたちのためにできることについて、熟議を重ねてきました。そのうちのいくつかの案を、「馬三わくわくサマースクール」で実現させました。同協議会が中心となって運営し、時には委員自らが講師となり、子どもたちの豊かな体験活動の充実を図りました。また、現在進行中の校舎改築についても、地域と学校が連携して可能な教育活動を検討し、「新しい馬三を創る」を合言葉に取り組んでいます。



馬三わくわくサマースクール「写生をしよう」の様子

### 久原小学校

本校は、これまで培ってきた地域・保護者と連携して行う教育活動の伝統を生かし、モデル校を経て令和4年度からコミュニティスクールとしての学校運営を開始しました。学校運営協議会委員が子どもたちの様子を見る機会を数多く設けることで、教育活動等への意見交換が活発に行われるようになっています。また、地域講師を活用した講話や実習などの授業を各学年で行い、学習活動の充実を図り、子どもたちが地域に対する感謝や愛着を育む機会としています。



「地域の未来のために」地域の方々の声を聞き、自分たちができることを考えている様子

## 「地域とともにある学校づくり」を進めています

### ～大田区版コミュニティスクールの推進～

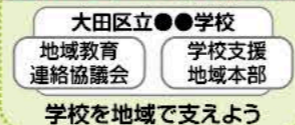
大田区の小中学校では、従来からある地域教育連絡協議会と学校支援地域本部の活動を更に発展させ、地域の皆様のご協力をいただきながら、コミュニティスクール(CS)を導入する取組が広がっています。学校を核としたコミュニティの形成、地域力の更なる向上につながる取組として注目されています。

令和4年度から導入している3校の小学校、2校の中学校では、さらに熟議が深まり、地域とともにある学校づくりが進んでいます。

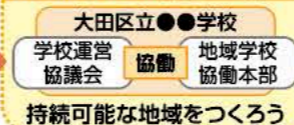
令和5年度は、4月から10月までの間に、新たに8校の小学校、1校の中学校にコミュニティスクールを導入しました。

本号では、令和5年10月までに導入された14校の意気込みを、一気に紹介します。

#### 学校と地域の連絡・支援体制



#### 大田区版CSで特色を明確に



コミュニティスクールとは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定められた学校運営協議会が設置された学校のことをいいます。



東京工業大学留学生との交流の様子

### 清水窪小学校

学校と地域・PTA等との連携を強固にし、情報の共有化を図り、地域と共に歩む学校づくりを目指しています。本校は、「おおたサイエンススクール」及び文部科学省教育課程特例校として、未来の科学を担う「科学大好きな子ども」を育成する教育活動を推進しています。近隣の東京工業大学等のご協力をいただきながら、サイエンスコミュニケーション科や土曜・夏休みわくわくスクール、留学生との国際交流会等の一層の充実に取り組んでいます。



夏のわくわくスクール「南京玉すだれ」の様子

### 東糀谷小学校

「地域を見つめ、地域に学び、地域に還す東糀谷のまち未来づくり」をテーマにし、コミュニティスクールを核とした「おおたの未来づくり」を推進しています。

「地域を見つめ」では、生活科のまち探検や社会科の地域学習を核として、「地域に学び」では、地域の工場見学において、各工場の特長や製作した製品や部品の利用のされ方等を学び、工具や機械を実際に使わせてもらいます。職人さんのものづくりや地域の方の東糀谷のまちに対する思いに直に触れ、学んだことをまちや人々にどのように還元していくかを考えていきます。地域の方々と連携した授業づくり(実学)を目指していきます。



人工衛星の部品を見ている様子

### 羽田小学校

明治36年に「羽田の発展は、教育の充実によるほかない」と村の方々の尽力で設立された羽田小学校。開校120周年の今年、その情熱を引き継ぎ「地域による地域のための学校」とするために、9月からコミュニティスクールを導入しました。

すでに「地域教育連絡協議会」が活発に図書・学習・装飾等の学校支援に入り、子どもたちの学びと成長を支えています。今後、学校や地域で大切にしたいことを協議していきます。



「高速大師橋架替工事」の学習の様子

### 大森第二中学校

コミュニティスクールとなり地域との交流が深まることによって、委員のつながりからの職場体験先の拡充や部活指導にも協力をいただき実施しています。また、昨年度から、本校の「標準服について」熟議を重ね、この度、変更案をもってアンケートを実施し、実現に向けて着実に歩んでいます。

今後は、地域課題の解決に向けた検討も含めて、委員が自身の立場で学校と地域のための議論を交わし、目標の一つである「地域アイデンティティ」を形成していきます。



職場体験の様子

### 道塚小学校

道塚小学校コミュニティスクールは、本年度モデル事業を含めて3年目となりました。学校運営協議会は、年に6回開催され、15回の開催実績を積み重ねてきました。

8月には、これからの道塚小学校の教育課程の在り方と校内で実行できる「教員の働き方改革」の実現にむけて、全教員・コミュニティスクールのメンバー14名にカムカム新蒲田副館長、多摩川図書館館長、卒業生であり現在高校生の安田さんの3名をゲストに加え、熟議をしました。様々な視点から理想の学校を描き教員を支えてくれる会となりました。



道塚小学校の教育に期待することを卒業生が発表している様子

### 大森第三中学校

～私たちは、おもしろい心を持って、一人ひとりが輝けるまちをつくらせていきます～



(左)吹奏楽部第1回定期演奏会のチラシ (右)コミュニティ・オープンカレッジのチラシ

この「福祉・文化・医療のまち新井宿宣言」を制定したまちで、大森第三中学校は令和4年度よりコミュニティスクールとなり、地域文化の発信拠点として様々な取組を進めています。頑張る子どもたちの力が、輝くまちづくりの原動力です。地域の大きな力で子どもたちの頑張りを応援できる、そのような「地域とともにある学校」の実現を目指しています。



プログラミング学習の様子

の児童が参加しました。秋からFIRST LEGO Leagueプログラムや地域の方と一緒にお年寄りへの配食サービスを始め、児童が楽しく生き生きと活動しています。

### 中萩中小学校

「チーム中萩中」として学校、地域、保護者が連携するために4月からコミュニティスクールになりました。コーディネーターも4名体制となり、地域の方の協力を得ながら学校を支援する体制が整ってきました。夏のわくわくスクールでは、起業家になるセミナーなど15種類21講座を実施し、のべ600人以上



おはなし会の皆さんによる朝の読み聞かせの様子

### 出雲小学校

「CS出雲」を設置し、秋山光明委員長(南六郷一丁目町会会長)をはじめ、全14名の委員で、学校運営協議会を推進しています。戸塚俊二委員(羽田特別出張所長)からの提案により、「高速大師橋 役割を考えてみよう」(首都高 大師橋架替工事)の学習を全児童対象に実施し、道路や橋を活用して、日本の物流や生活の基盤につながっていることへの理解を深めることができました。今後も、子どもたちの未来への学びにつなげていきます。



雪中祭り企画会議の様子

### 雪谷中学校

雪中コミュニティスクールは、「生徒のアイデアを実現する力となる」「生徒と地域の懸け橋となる」ことを目指して活動しています。夏休みに生徒会役員会とコミュニティスクールメンバーのミーティングを行い、12月に、コミュニティスクールと生徒会のコラボイベントとして「雪中祭り」を実施することになりました。3月には、町会の方々にも参加いただける「学校防災拠点運営訓練」を実施する予定です。学校運営協議会でも活発な意見交換が行われ、より良い学校づくりの大きな力となっています。

**教育委員会はコミュニティスクールの推進を応援しています**

教育委員会では、コミュニティスクールの全校導入に向けて様々な支援を行っています。

楽しくてやりがいのある取組です！日々全力で取り組んでいます！



教育地域力推進コーディネーターとCS担当職員



社会教育主事

教育委員会では、令和5年度から教育地域力推進コーディネーターを4名配置し、各校を精力的に訪問しています。コミュニティスクール導入に関するアドバイスやサポート、地域学校協働本部の活動に対する提案や支援等を行っています。

また、CS担当職員も若い職員が中心となって、コミュニティスクール導入のための事務局活動に取り組んでいます。未導入校へのアンケートの実施や、連携や協働を深める研修・交流会の企画等に加えて、地域教育連絡協議会や学校運営協議会などに出向き、若い委員と意見交換も行っています。

10月には、自治会連合会の主催する研修で、社会教育主事とのつながりから、家庭教育を専門とする大学教授の佐藤晴雄氏を講師に招き、コミュニティスクールをテーマとした講演会が開かれました。学校・家庭・地域の連携協働による、地域コミュニティの核となる学校づくりの機運が高まっています。



# 第23回 エコフェスタワンダーランド



## 体験型イベント(ワークショップ・講演会)

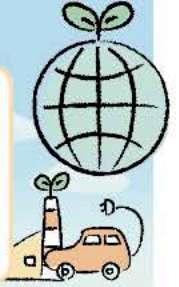
地域の団体や企業、学校などが出展します。  
 工作や実験、ゲームなどを通して、大人から子どもまで環境について学べます。  
 また、地球温暖化をテーマにした講演会も実施します。

日時：令和6年2月17日(土) 場所：池上会館(池上一丁目32-8)

## オンライン

特設サイトにて、環境学習動画などを配信します。  
 各出展団体の取組みなどを紹介しています。是非ご覧ください。

開催期間：令和6年2月1日10時～2月29日15時



問合せ 環境計画課計画推進・温暖化対策担当 TEL：5744-1362 FAX：5744-1532

詳細についてはホームページよりご確認ください。

## 地球にやさしいまちづくりポスター

### 入選者発表

小・中学生が環境問題について考え表現した、ポスターのコンクールを行いました。  
 審査の結果、ポスター作品(応募数:539作品)の入選者が決定したのでお知らせいたします。



調布大塚小学校2年 高見 晃太郎



大森第三小学校6年 石田 紗雪



雪谷中学校2年 大西 朋花



入選作品はこちら(区ホームページ)

### 優秀賞

羽田小学校3年 南部 結香  
 調布大塚小学校3年 亜厂 翠

久原小学校5年 小原 有美子  
 東六郷小学校4年 岩村 旭

東調布中学校3年 高見 遙  
 梶谷中学校3年 岡田 彩愛

### 特別賞

貝塚中学校2年 兼原 杏

### 入選

馬込第二小学校1年 小田 百々花  
 池雪小学校2年 相場 千紗  
 久原小学校1年 舘 汐里  
 小池小学校3年 堀井 千洋  
 池雪小学校2年 工藤 大慈

六郷小学校6年 干場 芽生  
 馬込小学校6年 関口 晶大  
 久原小学校4年 秋元 理香子  
 馬込第三小学校6年 武藤 ユラ  
 高畑小学校5年 村尾 芽依

大森第七中学校2年 高橋 麻衣  
 東調布中学校2年 佐瀬 理々  
 大森第八中学校2年 白田 さくら  
 志茂田中学校1年 加藤 優  
 雪谷中学校2年 加瀬谷 和花  
 雪谷中学校1年 竹石 向汰



問合せ 環境計画課計画推進・温暖化対策担当 TEL：5744-1362 FAX：5744-1532

## 受賞おめでとうございます

第70回東京都バドミントン選手権大会  
 女子団体3位 **大森第四中学校バドミントン部**

令和5年度 全日本ジュニアバドミントン選手権大会 東京都選考会  
 準優勝 **川畑 海希** (大森第四中学校 1年)

第35回東京ジュニア陸上競技大会(種目：ジャベリックスロー)  
 優勝 **片山 裕太** (大森第四中学校 3年)

第1回アジアU16女子バレーボール選手権大会  
 優勝 **佐藤 まひろ** (大森第七中学校 3年)

第40回全国少年少女レスリング大会選手権大会  
 小学生6年生46kg級  
 優勝 **今井 絢太** (山王小学校 6年)

第40回全国少年少女レスリング大会選手権大会  
 小学生4年生33kg級  
 優勝 **今井 園乃** (山王小学校 4年)

第44回文部科学大臣杯 少年少女囲碁大会全国大会  
 全国大会優勝 **横手 悠生** (調布大塚小学校5年)

※受賞当時の学年を記載しています

## 話してみよう あなたの悩み

一人で悩まずに、ぜひ、教育相談をご利用ください。  
 あなたの「いやだ」「困ったな」「助けて」の声に耳を傾けます。

### ♥教育センター 教育相談担当

平日：午前9時～午後7時  
 土日：午前9時～午後5時(年末年始・祝日を除く)

保護者の方 TEL：03-5748-1201 子ども専用 TEL：03-5748-1203

### ♥こころの輪メール kokoronowa@city.ota.tokyo.jp

返信は1回限りになります。相談を継続されたい方は教育センターの電話相談をご利用ください。



いじめ、友人関係、不登校や学習・進路に悩む子どもたちと保護者の皆さんの心に寄り添ってお話を伺います。



二次元バーコードから「こころの輪メール」につながります。

昨年9月に小学1年生と小学校への転生に、反射板素材の「はねびんキーホルダー」を配付しました。  
 裏面に、子ども電話相談の電話番号と「こころの輪メール」の二次元バーコードがプリントされています。



問合せ 教育センター TEL：5748-0801 FAX：5748-1390

## 教育委員会定例会の主な議題

- 令和5年第9回定例会(9月25日開催)
- 令和5年第10回定例会(10月23日開催)
- 令和5年第11回定例会(11月20日開催)

## 教育委員会定例会の開催予定日

■日程 1月25日(木) 2月19日(月) 3月28日(木) ■時間 午後2時から  
 ■場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室

- ※予定が変更になる場合があります。
- ※傍聴を希望する方は、あらかじめ下記問合せへご確認ください。
- ※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

問合せ 教育総務課 庶務係 TEL：5744-1422 FAX：5744-1535

## ■ 教育長・教育委員の就任について

令和5年12月22日付けで、小黒仁史教育長と北内英章委員が再任しました。



小黒仁史 教育長



北内英章 委員